

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 海域ワーキンググループ会合の開催状況

平成 30 年 8 月 1 日 第 1 回会合開催 (羅臼町)

平成 31 年 3 月 6 日 第 2 回会合開催 (札幌市)

〈第 2 回会合の主な内容〉

◇ 平成 29 年度海域管理計画のモニタリング項目の評価について

第 2 期知床世界自然遺産地域多利用型統合的・海域管理計画のモニタリング項目に関する評価を実施した。海氷面積についてはオホーツク海全体で長期的に減少、また、サケ・マス、スルメイカ、ホッケ等の漁獲量も減少が続いていることから、今後も引き続きモニタリングを継続して気候変化との関連性を検証して行く。

【第 2 期多利用型統合的・海域管理計画モニタリング項目】

海氷、水温・水質・クロロフィル a・プランクトンなど、生物相、有害物質、サケ類、スケトウダラ、トド、海鳥類、海ワシ類、社会経済

◇ 平成 29 年度長期モニタリング計画モニタリング項目の評価について

海域ワーキンググループが担当する長期モニタリング項目について評価を実施した。

【今回評価を行った長期モニタリング項目】

2 海洋観測ブイによる水温の定点観測、4 海域の生物相、及び、生息状況 (浅海域定期調査)、5 浅海域における貝類定量調査、6 ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査、22 海ワシ類の越冬個体数の調査、①航空機、人工衛星等による海水分布状況観測、③「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握、④スケトウダラの資源状態の把握と評価、⑤スケトウダラ産卵量調査、⑥トドの日本沿岸への来遊頭数の調査・人為的死亡個体の性別・特性、⑦トドの被害実態調査、⑧オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング、⑨全道での海ワシ類の越冬個体数の調査、⑩海中の石油、カドミウム、水銀等などの分析

◇ モニタリング項目の整理について

モニタリング項目の整理に伴い、新たに作成した新評価シート及び資料集について協議を行った。記載するデータを選別してわかりやすくすること、また、関連する海域管理計画モニタリング項目を横断的に評価する分類評価や知床海域全体の評価のあり方について検討するとともに、長期モニタリング計画の評価項目への対応についても検討した。

◇ 平成 29 年度海域管理計画定期報告書について

知床の海洋生態系や水産資源利用の現況などを把握するため、モニタリング結果を取りまとめた「海域管理計画定期報告書」について協議を行った。

取りまとめ後、知床データセンターなどを通じて公開する。

◇ 第 41 回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について

ユネスコの世界遺産センターへ提出されたことを報告した。

2 今後の予定

- 平成 31 年 8 月（予定） 平成 31 年度第 1 回会合の開催（知床）
 - ・新評価シートを用いたモニタリング項目の評価について
 - ・第 43 回世界遺産委員会決議について

- 平成 32 年 2 月（予定） 平成 31 年度第 2 回会合の開催（札幌市）
 - ・新評価シートを用いたモニタリング項目の評価
 - ・海域管理計画定期報告書の作成